



レスキューナース からのメッセージ

Vol.21

国際災害レスキューナース
辻直美

防災講演会、 生きた内容ですか？

ある、危機管理室の方がやる防災講演会に参加しました。

「大地震に向けて」という題材だったが、危機感がまったくない内容だった。まず、地震想定割には実際に使えるテクニックの紹介がなく、データの事ばかりを話して終わった。地震が来ることはみんなわかっていることで、知りたいのは「いきのびるためにどうしたらいいのか？」だと思う。

正直な感想は、「多分これを聞いても、なにかしなきゃ、自分たちの命は自分で守るなんて意識は生まれまいだろう」と思った。

だって・・・、「我が市は岩盤も硬く、海拔も高いので大丈夫」、「このあたりは大丈夫」、「ここには津波が来ない」、「ここは崩れない」と言いまくる。本当に危機管理室の方なの??って言いなくなったほどだった。

参加者から、「本当か?」、「何かできることはないのか?」、「ミサイルが飛んだら?」と激しく質問していたが・・・。

「可能性としてはゼロではないが、あるということ大変なことになる。だから可能性としてあるのは低いので、ないとしています。大丈夫なのです」と、まったく腑に落ちない説明だった。

もちろん、その質問者も食い下がる。

10分以上食い下がったが、最後は、「何も無い、落ちない場所に引っ越せば?」だって。あり得ない(怒)

まさか、みなさん、こんな防災講座や防災講演会、していないですよ??笑

私の住む所は、まだ自治会の意識は高いほうです。管理組合は自助、余裕があれば共助を、と言っていますが。しかし「専門家」がこれでは、共助どころか自助もないだろう。

私は、本当に呆れてしまいました。講演された方に、最後に挨拶させていただいたら、顔が

凍っていました。まさか「私」がいるなんて、思わなかったんだろうな……。

私が伝えている事は!!

5年前からコツコツやってきた「オリジナルの防災講座」。あまりにも従来のものとは違いすぎて、知識もスキルも必要性を感じられなかったようだ。

今までの講座では助かる気がしないからだという。講座を受けた方が口を揃えて言うのが、「これは防災講座なんかじゃない、生き抜く為のサバイバル講座だ」。お陰様で日頃から言ってる「助けてもらうんじゃない、自分で助かる為に知識とスキルと経験等が必要だ!」が少しずつだけ浸透してきたのだと思う。

「自助、共助、公助、一番大事なのは自助!」。防災対策・災害対応を考えるうえで何をしても大事なのは「自助」。いろいろな災害をみても行政が動くのには、責任上、タイムラグがある。逃げろ!という投げかけを与えられるのを待っていても遅すぎる。自分で判断すること、行動できること、決めて行動したことに対して迷わないこと。それがなかったら「生き抜く」ことはできない。早めに 安否確認をして、それ以上の被災がないと判断してから行動するのだ。

「何を知ってて、何ができるのか?」。関西に住む人間は阪神大震災の体験からか、被災する時は家族が全員そろっていると勝手に思い込んでいる。これは大きな思い違い、それなのに人間は大きな体験がその全てだと刷り込まれてしまうのだ。何も無い時に情報収集しシミュレーションしておかなければエマージェンシーな状況で動けるわけがない。せめて月に2回はシミュレーションをしてほしい。普段からの準備が、あなたと、あなたの家族の命を守るのだから。

【教訓】

何も無い時こそ情報収集とシミュレーション!